

科目	社会探索ゼミ	担当	加藤(知)、岸、日下部、神野、高崎、高須、田中(信)、野場、比留間、(新任)	履修学年	1年
時間数	90分×時限×32回(週1回)	履修区分	必修	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

この授業は、今後の大学生活を送る上で有益となる学問の大枠を体験的に学習し、経済・経営、自分づくりなどについて考えるための素材を提供するものである。活動は学外の工場・会社見学、文化施設見学、地域探索などである。自己発見や友人・先生との触れ合いなどの場ともなるよう、授業への積極的な参加を期待する。

各週、異なる企画を2コマ3時間で実施する。予習、見学・研修、復習がセットになっているので、実際に学外へ出かけるのは3週間に1回である。交通費・入場料・教材費は大学側で負担する。授業は9名の自分づくりゼミI担当教員および2名の経営専門教員(秋山健太郎、松原隆治)により実施される。

「モノづくり愛知」の歴史と現状、経済・経営の仕組みの一端を垣間見ることができる。このことは、就職を考えるための良い材料を得ることにもなる。

【履修注意】

・学外に出る場合は特に、集合場所・時間、一般社会人対応など、基本的マナーには十分注意しなければならない。ジャージにサンダル履きといった服装は安全面でも品格の面でも好ましくないのを避けること。守らない場合は、同行させず、欠席扱いにする。筆記用具必携。

・学外プログラムは、見学先の所在地や都合により予定時刻に大学で解散できない場合が多い。2コマ3時間の授業ではあるが、さらに時間がかかる場合や、逆に少し早く終わる場合もある。解散場所が大学以外になることもある。したがって、このプログラム直後にアルバイトやクラブ活動を予定に入れないよう配慮をお願いする。

・都合により、見学先が変更になる場合もある。

【評価方法】

授業参加態度と課題の提出状況・内容を総合的に判断して評価する。

・この科目は、事前準備、見学・研修、事後の反省がセットになっているので、いずれかを休むと、期待された成果を得られない。全出席が望ましい。

【試験について】

評価のための試験は行わない。再試験対象者の条件: 評価点40点以上60点未満の場合

【予習・復習】

見学・研修先については、授業外でも調べて学習すること。

【教科書】

【参考書】

【その他の注意事項】

見学先ならびに全体授業の詳細は4月に発表します。

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	③④全体授業	概要説明、社会人マナー講習会
2	③ゼミ仲間を知る、④予習	オリエンテーション、見学先情報収集
3	③④研修	見学1
4	③復習、④全体授業	見学まとめ、特別講演等
5	③④予習	見学先情報収集
6	③④研修	見学2
7	③復習、④全体授業	見学まとめ、特別講演等
8	③④予習	見学先情報収集
9	③④研修	見学3
10	③復習、④全体授業	見学まとめ、特別講演等
11	③④予習	見学先情報収集
12	③④研修	見学4
13	③復習、④全体授業	見学まとめ、特別講演等
14	③④予習	見学先情報収集
15	③④研修	見学5
16	③復習、④総括	見学まとめ、アンケート等